

今月の管内農業情報(田原農業改良普及課)

[2013年6月19日]

6月の農業情報

タイトル どうまい牛乳販売好調

とき 平成25年5月27日(月)

ところ JA愛知みなみ 田原畜産センター

主体・対象 JA愛知みなみ 田原酪農部会 16戸

内容

JA愛知みなみ田原酪農部会の総会が開催され、中央製乳株式会社から「どうまい牛乳」の販売実績が報告された。「どうまい牛乳」は、JA愛知みなみの酪農部会18戸が生産する牛乳のみを使用し、搾乳後24時間以内にパック詰めされた、産地限定・鮮度重視の牛乳で、「どうまい」は愛知県三河地方の方言で「すごくおいしい」を意味する。

販売を開始した平成19年度は27万本、それ以降年々増加し平成24年度は48万本販売に達した。消費者の地産地消意識が高まって来ている結果と考えられる。JA愛知みなみでは、「どうまい牛乳」の下敷きを作成し、田原市内の小中学校低学年全員に配布した。さらに今後、10年以上小学校の新1年生に配布する枚数が作成してある。小学生でも分かりやすいネーミングであり、子供が「お母さん、どうまい牛乳買って来て」と言ってくれることを期待している。

農業改良普及課では、どうまい牛乳の高まる需要に対応できるよう、酪農経営における暑熱対策を中心とした飼養環境改善を推進し、生乳の需要期生産と経営安定を図っている。



どうまい牛乳下敷き